

鞍馬山を歩いてみました

鞍馬山案内

Guide Map of Mt. Kurama

鞍馬駅から貴船口駅へ



- ① 仁王門 (山門) Niō-mon
- ④ 烏樞沙摩明王殿 Ususamamyōōden (山麓お手洗い) (W.C.)
- ⑤ 歓喜院・修養道場 Kankiin・Shūyō-dōjō
- ⑥ 普明殿 (ケーブル山門駅) CableCar (San-mon Sta) Fumyō-den (Information Office)
- ⑦ 多宝塔 (ケーブル山上駅) CableCar (Tahō-tō Sta) Tahō-tō (Pagoda)
- ⑧ 新 参 道 Shin-Sandō
- ⑨ 弥 勒 堂 Miroku-dō
- ⑪ 吉 鞍 稻 荷 社 Yosukurainari-sya
- ⑫ 魔 王 の 瀧 Maō no Taki
- ⑬ 鬼 一 法 眼 社 Kiichi-hōgen-sya
- ⑭ 由 岐 神 社 Yuki Shrine
- ⑯ 川 上 地 蔵 堂 Kawakami Jizō-dō
- ⑰ 義 経 公 供 養 塔 Monument of Yoshitsune
- ⑱ 愛と光と力の像「いのち」 Monument of "Inochi"
- ⑲ 双 福 苑 Sōfuku-en
- ⑳ 中 門 Chū-mon
- ㉑ 貞明皇后行啓 御休息蹟 Empress Teimei resting place
- ㉒ 巽の弁財天社 Tatumi-no-Benzaiten-sya
- ㉓ 転法輪堂・洗心亭 Tenpōrin-dō・Senshin-tei
- ㉔ 寝 殿 Shinden
- ㉕ 本殿金堂・金剛床 Honden (Main Hall)
- ㉖ 關伽井護法善神社 Akai-gohō-zenjin-sya
- ㉗ 光 明 心 殿 Kōmyōshin-den
- ㉘ 本 坊 (金剛寿命院) Honbō (Temple Office)
- ㉙ 與謝野晶子・寛歌碑 Monument of Yosano
- ㉚ 靈宝殿 (鞍馬山博物館) Reihō-den (Museum)
- ㉛ 息 つ ぎ の 水 Iki-tsugi no Mizu
- ㉜ 屏風坂の地蔵堂 Jizō-dō
- ㉝ 背 比 べ 石 Sekurabe Ishi
- ㉞ 木 の 根 道 Kinone Michi
- ㉟ 大 杉 権 現 社 Ōsugi Gongen-sya
- ㊱ 僧 正 ガ 谷 不 動 堂 Fudō-dō
- ㊲ 義 経 堂 Yoshitsune-dō
- ㊳ 奥 の 院 魔 王 殿 Okunoin Maō-den
- ㊴ 西 門 Nishi-mon

図中の番号は当寺ホームページ地図を基準にしていますので、番号が連続していません。



入山に際してのお願い

- ・浄域です 心静かに御参拝下さい
- ・ろうそく 線香以外の火は使えません
- ・タバコは所定の場所をお願いします
- ・動植物などの採取捕獲はできません
- ・参道以外へは立ち入らないでください
- ・落石 倒木などにご注意ください
- ・ゴミはお持ち帰りをお願いします



3
木の根道 The root of the tree road
树路的根 뿌리도
固い地盤の上を杉の根が地表を這うように広がる鞍馬山の代表的な風景。牛若丸が兵法修行に励んだとも伝えられています。

梅宮社

貴船口駅

貴船口駅前
バス停

至出町柳

義経公供養塔

法眼の滝

鞍馬山ケーブル
※有料

5 由岐神社

山門駅

鞍馬駅

叡山電車鞍馬線

鞍馬川

仁王門(愛山費受付所)



5
由岐神社 Yuki Shrine 由岐神社 유키 신사
毎年10月に行われる「鞍馬の火祭」でも知られる鞍馬寺の鎮守社。その拝殿は国の重要文化財にも指定されています。

仁王門

3分

魔王の滝
鬼一法眼社

5分

川上地藏尊
義経公供養塔

15分

本殿金堂

5分

牛若丸息次ぎの水

10分

源義経公背比石

5分

僧正ガ谷不動堂
義経堂

20分

鞍馬寺西門

4分

貴船神社

30分

貴船口駅

合計
約100分

鞍馬山をより身近により深く

鞍馬山へのいざない

大いなる力への祈りから四季折々の風情を楽しむ山歩きまで、自然観察、歴史や文学散歩、古美術鑑賞など鞍馬山を訪れる方の思いはさまざまです。鞍馬山をより身近に、より深く感じていただくため、テーマ別の歩き方をご案内します。

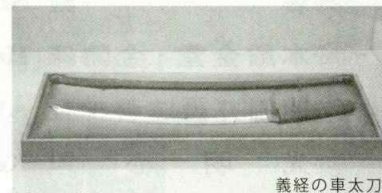
義経公供養塔

◆ その1 牛若丸史跡めぐり

- ⑬ 鬼一法眼社 一説に牛若丸に兵法を授けたと伝わる一条堀川の陰陽師・鬼一法眼をまつる。
↓ 3分
- ⑯ 川上地藏堂 この地藏尊は牛若丸の守り本尊であったという。
↓ すぐ
- ⑰ 義経公供養塔 (東光坊跡) 牛若丸が7歳から10年間起居した東光坊の跡地に昭和15年、供養塔が建立された。
↓ 20分
- ⑳ 本殿金堂
↓ 3分
- ㉓ 霊宝殿 3階に奉安する国宝・毘沙門天三尊像を拜んで、牛若丸は淋しさをまぎらわせていたのだろう。(牛若丸に関する文化財も展示することがある)
↓ 2分
- ㉔ 息つぎの水 牛若丸が東光坊から奥の院へと兵法修行に通う途中、この清水を汲んでのどの乾きをうるおしたと伝えられる。
↓ 15分
- ㉕ 背くらべ石 牛若丸16歳、奥州に下る際、名残をおしみ背くらべをした石である。
↓ すぐ
- ㉖ 木の根道 岩盤が固く地下に根を張れない杉の根が地表を這い独特の景観をつくる。牛若丸が跳躍の稽古をしたという。
↓ 7分
- ㉘ 僧正ガ谷不動堂 森巖の気みちるこのあたり一帯は僧正ガ谷と呼ばれ、謡曲の「鞍馬天狗」が牛若丸と出会った所である。
↓ すぐ
- ㉙ 義経堂 義経公の御魂はなつかしい鞍馬山に戻ったと信じられ、護法魔王尊の脇侍・遮那王尊としてここにまつられている。



川上地藏尊



義経の車太刀



木の根道



僧正ガ谷不動堂

仁王門から九十九参道を登り、本殿から更に貴船へと上記の番号順に足跡をたどり、源義経の若き日に思いを馳せてはいかがでしょうか？

(仁王門から貴船まで約2.5km 徒歩で約100分の行程内にあります)

「おん母のぬくもりほどに及ばねど

安らぎ給え老杉のもと」 (信樂香仁)

鞍馬山について

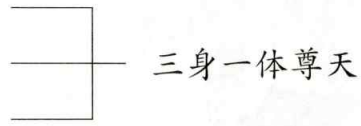
鞍馬山は、すべてのいのち輝く世界のために、明るく暖かく力強く生きるための活力を、本尊「尊天」からいただくための浄域です。

尊天とは、この世に存在するすべてを生み出す宇宙生命、宇宙エネルギーで、その働きは慈愛と光明と活力となって現われるので、

慈愛—月の精霊—千手観世音菩薩

光明—太陽の精霊—毘沙門天王

活力—大地（地球）の霊王—護法魔王尊



として、「月のように美しく、太陽のように暖かく、大地のように力強く…すべては尊天にてまします」とお唱えします。そして、尊天の心をわが心として自身の心華（^{しんげ}純粹無垢な心）に気づき、いのちを輝かせながら明るく暖かく力強く生きることを目指し、宗派、人種、国境などの垣根をとり払って、ひとりひとりの真のめざめと万物の調和を祈るのです。

約 2 億 6 千万年前の地質を含む鞍馬山は、太古より尊天のお力が満ちあふれています。この地に、宝亀元年（770）鑑真和上の高弟・鑑禎上人（思託律師）が毘沙門天をお祀りし、延暦 15 年（796）には藤原伊勢人が堂塔伽藍を整え千手観世音も祀って鞍馬寺が生まれました。以来、幅広い信仰を集めて来ましたが、昭和 22 年に古神道、密教、浄土教、修験道など多様な信仰の流れを統一し鞍馬弘教と名付け、鞍馬寺はその総本山となっています。

鞍馬山は、すべてのいのちの安らぐ大自然の宝庫でもあります。山域全体を鞍馬山自然科学博物苑として、感謝の心で接するよう努めて来ました。美しい四季のめぐりの中で、古式豊かな年中行事が数多く修されます。「源氏物語」「枕草子」などの古典にも登場し、牛若丸とのゆかりも深く、由緒深い史跡に 1200 年余の歴史が息づき、「経塚遺物」を始め、多くの文化財を蔵しています。

鞍馬山の多様な魅力の根源は「信の心」、多くの人がある人なりに尊天のお力を受け、真実にめざめ、いのちを輝かせてくださるようにと、山容を整えています。

縁あって鞍馬山を訪れた方々が尊天のお力に包まれ、すがすがしく安らかなひとときをお過ごしくださることを願っています。

総本山鞍馬寺

京都市左京区鞍馬本町 1074
TEL (075) 741-2003

URL <http://www.kuramadera.or.jp>